

2023 年度以前 判定区分表改訂履歴

標準 12 誘導心電図検診判定マニュアル(2023 年度版)2022 年 12 月 26 日公開)に伴い、心拍数 100 拍分以上を洞頻脈としました。

つきましては、判定区分表の心拍数(仰臥位)の D 判定(要精密検査・治療)を 101 拍分から 100 拍分以上に変更します。これに伴い、C(要再検査・生活改善)は 100 拍分以下を 99 拍分以下に変更します。

(2023.3.17 一部改訂)

<判定区分 改訂履歴>

>2023.3.17 付 ...「心拍数(仰臥位)回/分」項目(p1)の C 判定・D 判定の数値変更

p1「C 要再検査・生活改善」の数値について

旧:「C 40-44、86-100」

新:「C 40-44、86-99」

p1「D 要精密検査・治療」の数値について

旧:「D 39 以下、101 以上」

新:「D 39 以下、100 以上」

>2022.2.1 付 ...脚注追加理由(p2)についての訂正

p2 「3. 脚注追加の理由等」の「3-1 non-HDL コレステロールの判定区分適応」

誤:(2)トリグリセライド 400mg/dl 未満や空腹時採血の場合

正:(2)トリグリセライド 400mg/dl 未満かつ空腹時採血の場合

>2021.12.21 付 ...注釈番号の訂正

p4 判定区分表 尿蛋白 C 判定

誤:(+)*7 ➡ 正:(+)*8

>2021.12.17 付 ...2022 年度版公開。判定区分表記の改訂と脚注を追加

>2020.5.11 付 ...尿中白血球 D 区分について表記を修正

>2020.2.7 付 ...2020 年度版公開

1. 尿沈渣判定区分を別表のとおり追加しました。*6

2. 子宮頸部細胞診について「ASC-US」の区分を変更

* *7の付記を追記しました。

3. ALP に関する付記を追加しました。

ALP については、[日本臨床化学会の HP](#) もご参照下さい。

なお、当学会では ALP の判定区分を作成していません。